

令和七年度 立志式 校長式辞より抜粋

二年生の皆さん、本日は立志式を迎えられ、誠におめでとうございます。

立志式は、これまで家族や周囲の人々に守られ、育てられてきた自分から一歩踏み出し、自らの意思で未来を切り拓いていく決意を新たにす、大切な節目の日です。

「立志」の「志」は、「こころざし」と読みます。

志とは、将来になりたい自分の姿であり、人生の進む方向を照らす灯りです。

その灯りがあるからこそ、人は迷いながらも、進む道を見失わずに歩み続けることができます。

今、皆さんが思い描いている志は、まだ漠然としたものであっても構いません。はっきりとした形になっていなくても、

「自分はどのように生きたいのか」「何を大切にしたいのか」と考え始めた、その一歩こそが何より尊いのです。

これから先、皆さんの前には、思いどおりにいかないことや失敗、迷い、立ち止まってしまう場面がきつと訪れるでしょう。

そのようなときに必要となる力があります。

それが「レジリエンス」です。

レジリエンスとは、困難や挫折に直面しても、しなやかに立ち直り、再び前を向いて進んでいく力のことをいいます。

人は誰でも、強い心を持ち続けられるわけではありません。落ち込むこともあれば、くじけそうになることもあります。

しかし、自分の中に志があれば、その志が支えとなり、再び立ち上がる力、すなわちレジリエンスを育ててくれます。

今日立てた志は、皆さんが困難に向き合うとき、必ず皆さん自身を支えてくれるはずです。

また、皆さん一人一人の歩みは、決して一人だけで成し遂げられるものではありません。これまで支えてくれた家族、

励まし合いながら共に成長してきた友達、そして温かく見守

ってきた先生方の存在があって、今の皆さんがあります。

感謝の心を忘れず、周囲の人々と力を合わせ、共に成長できる人であってください。その関わりの中で、レジリエンスはさらに強く育っていきます。

今日の立志式を、これまでの歩みを振り返る通過点として、そして新たな未来へ踏み出す出発点として、心に深く刻んでください。

皆さん一人一人の未来が、志とレジリエンスを力として、豊かに切り拓かれていくことを心より願っています。